

20代後半に“大工”になることを目指したワケ

40歳にして、大工としてのキャリアは9年だという村上さん。ここまでどんな人生を歩んできたのだろうか。

「実家がもともと工務店で、祖父と親父が大工。だから子供のころから自分も大工になると思っていたんです。それなのに普通に大学に進学し、地元の墨田区で普通の会社員になってしまいました」

その進路は、息子に安定した仕事に就いてもらいたかったご両親の望んだことでもあった。そんな村上さんに変化が訪れたのは20代後半のことだった。